

「Web情報保護技術を応用した学校コミュニティ情報提供システムの
要件に関する研究」
調査報告書

財団法人コンピュータ教育開発センター

目次

1	研究の趣旨および研究の経過	
1 - 1	研究テーマ	1
1 - 2	研究の趣旨・目的	1
1 - 3	研究方法	1
1 - 4	研究体制	2
1 - 5	研究スケジュール	2
2	学校ホームページの現状と課題	
2 - 1	学校ホームページの現状	3
2 - 2	学校ホームページについての保護者の意識	5
2 - 3	学校ホームページの現状と運営体制	7
2 - 3 - 1	A 小学校	7
2 - 3 - 2	B 小学校	1 2
2 - 3 - 3	C 中学校	1 7
3	情報提供システムの要件	
3 - 1	保護者のシステムに対する要望	2 1
3 - 2	個人情報保護するシステム上の課題	2 5
参考資料 1	保護者アンケート用紙	2 8
参考資料 2	保護者アンケート調査結果	3 6

1 研究の趣旨および研究の経過

1 - 1 研究テーマ

Web情報保護技術を応用した学校コミュニティ情報提供システムの要件に関する研究

1 - 2 研究の趣旨・目的

企業では、Web上にコミュニケーションシステムを構築し、社内外への情報提供・情報発信あるいは顧客からの意見等の情報収集手段として活用している。学校においても、小中学校等の設備基準が改訂され、「当該学校の教育活動その他の学校運営の状況について、保護者等に積極的に情報提供する」ことが求められている。

最近では、学校でもWebを利用したコミュニケーションシステムが導入されるようになってきたが、児童・生徒情報など学校コミュニティ特有の情報保護については、まだ十分考慮されたものとなっていない。Web情報保護技術を応用したシステムの構築が必要である。

本研究では、対象を学校と保護者に絞って、どのような情報保護のしくみが必要なのか、またどのような情報をどのように公開すべきなのかを調査し、学校コミュニティ情報提供システムの要件を明らかにすることを目的とする。

1 - 3 研究方法

以下の段階を踏んで研究を行った。

学校ホームページ実態調査

学校が公開しているホームページについて50校を任意抽出し各ホームページで公開している情報について分析し、保護者への実態調査を実施するためのアンケート項目作成を行う。

保護者実態調査

小学校100名および中学校50名の保護者に対して学校のホームページに関する意識についてアンケート調査を実施、その分析を行う。

要件項目の抽出

アンケート結果を参考し、保護者が要望する情報と、情報提供に当たってのシステム上の課題について検討し、報告書としてまとめる。

1 - 4 研究体制

研究を行うに当たり、学校管理者の立場として現職校長と、実際に学校のWebサイトを運用管理されている小学校及び中学校の先生にご協力いただき、研究委員会を発足させて研究を行った。

1 - 5 研究スケジュール

研究は、以下のスケジュールにて実施した。

平成 14 年

8 月～9 月 学校ホームページ実態調査

9 月 17 日 委員会（第 1 回）開催

10 月 保護者実態調査アンケート

11 月 13 日 委員会（第 2 回）開催

12 月～

平成 15 年 1 月 要件抽出

2 月 13 日 委員会（第 3 回）開催

3 月 報告書作成

2 学校ホームページの現状と課題

2 - 1 学校ホームページの現状

文部科学省において毎年実施している『学校における情報教育の実態等に関する調査』平成14年3月31日現在の調査結果によると、表2-1のとおり小学校で9,451校(比率:41.8%)、中学校で4,400校(比率:42.8%)の公立学校においてホームページを開設しており、その割合は前年度と比較し増加している¹。

学校が開設しているホームページの閲覧者は、学校教育関係者のみならず保護者も自分の子どもが通学している学校におけるホームページを多数閲覧しているものと推測している。

表2-1 学校のインターネット接続状況およびホームページ開設状況

	学校数	インターネット接続学校数	学校のインターネット接続率	ホームページのある学校	ホームページのある学校の比率
小学校	23,251	22,594	97.2%	9,451	41.8%
中学校	10,357	10,271	99.2%	4,400	42.8%
高等学校	4,139	4,103	99.1%	2,907	70.9%
中等教育学校	1	1	100%	1	100%
特殊教育諸学校	930	912	98.1%	549	60.2%
合計	38,678	37,881	97.9%	17,308	45.7%

保護者の立場から考えると、学校のホームページを閲覧するケースには以下のいくつかの立場にたち、その目的を果たす手段として行うことが考えられる。

自分の子どもが通学している学校について閲覧する(通学先としての閲覧)

自分の子どもの進学先検討の手段の一つとして閲覧する(進学検討先としての閲覧)

同窓生の立場として、学校の様子を閲覧する

ニュースで取り上げられた等により、その学校の詳細を知るために閲覧する

¹ 出典：文部科学省ホームページ
(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/14/08/020801.htm)

保護者が持つ知識や技能等を、学校の授業等に活かすための支援として閲覧する
その他の目的で閲覧する

本研究においては上記目的の内、通学先としての閲覧、進学検討先としての閲覧、の二面から保護者の意識調査に関するアンケートを行い、学校のホームページによる情報提供システムについて検討した。

上記以降の目的における閲覧について今回は検討の範囲とはしなかったが、いずれは検討すべき内容を含んでいると考えている。

保護者の意識調査アンケート調査を実施するにあたりその前段階として、学校が公開しているホームページの現状について、いくつかの学校のホームページを抽出し、その学校が公開している内容を分析することとした。

調査は、『インターネットと教育』²がリンクしている学校からランダムに50校を選び、各サイトの公開している情報を整理することをおこなった。

その結果、表2-2のとおり学校のホームページにおいて以下のような情報が提供されていることを把握した。

² 出典：インターネットと教育（<http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/educ/>）

表2 - 2 学校ホームページにて掲載されている主な事項

調査対象学校数	50校	
調査期間期間	平成14年7月20日～同年8月31日	
ホームページ上で表示されている項目	行事の記録を表示	29校
	学年の学習活動等を表示	25校
	年間行事予定を表示	20校
	クラブ活動や児童会・生徒会活動等を表示	18校
	PTA活動の表示	15校
	月間行事予定表示	14校
	子どもの作品等を表示	13校
	学校便り等の発行物の内容表示	10校
	運動会等の特定行事予定を表示	8校
	教職員氏名の表示	4校
	給食・保健室の情報表示	4校
	ボランティア活動の表示	2校
	学校への届出用紙の表示	1校
	同窓会活動の表示	1校
地域活動の表示	1校	

2 - 2 学校ホームページについての保護者の意識

表2 - 2の調査結果を参考としてアンケート項目を検討の上、保護者向けのアンケートを作成、調査を実施した。³

アンケート実施した調査数、調査項目は表2 - 3のとおりである。

³ アンケート項目および集計結果は、参考資料に記載

表2 - 3 調査対象校とアンケート内容

実施時期	平成 14 年 10 月 14 日 ~ 10 月 31 日
調査数	小学校 配布数 102 回答数 77 中学校 配布数 56 回答数 55
アンケート調査項目	保護者のインターネット環境等についての調査 学校の情報提供手段としてのインターネット活用についての関心 子どもの個人情報についての考え その他関連調査

調査の結果、各質問事項に対する特出できる事項は表2 - 4 のとおりであった。

表2 - 4 保護者アンケートに対する回答概要

質問番号	質問内容	回答の概要
保護者のインターネット環境等についての調査		
Q1	パソコンによるインターネットの利用環境	パソコンを利用できる環境を保有している保護者が全体の8割強
Q2	携帯電話によるインターネットの利用環境	携帯電話保有している保護者は8割、内メールやインターネットを利用している保護者はほぼ半数
学校の情報提供手段としてのインターネット活用についての関心		
Q3	保護者の子どもが通学している学校のホームページ公開に対する認知	保護者のほぼ9割はホームページを公開していることを認知
Q4	学校の情報提供手段としてのホームページ利用	保護者の7割が子どもの通学している学校のホームページを見たことがある
Q5	子どもが通学している学校のホームページにより公開されている情報	行事予定や運動会等の行事記録の公開について、要望を含め9割の保護者が関心を持っている
Q6	進学先の学校のホームページとして公開を要望する情報	施設・設備、教育方針、学校公開日等の情報提供希望者が高い割合
Q7	子どもが通学している学校のホームページを見る頻度	週1回程度以上見る保護者が3割弱、逆に見ない方が1割程度

Q8	関心を持って見る内容	記述式で回答いただいたが、学校行事・運動会など行事予定や、行事の記録に関するものの関心が高い
Q9	Q5で設問の情報が、提供されていた場合、学校ホームページを見る頻度	週1回程度以上見るとの回答が6割の保護者からある
Q10	学校がもつ情報でホームページ上公開された場合に利用する可能性	雨天時の運動会や遠足の実施可否、学校からの連絡事項の通知等が7割強の要望がある
子どもの個人情報についての考え		
Q11	子どもの作品を学校のホームページ上の公開	半分の保護者が、保護者のみに限定した公開を要望
Q12	制限無く自由に閲覧可能な状態での、子どもの個人情報	学校行事での子どもの顔写真、子どもの作品、子どもの名前表示について、6割の保護者が認めないか、個人を特定できないような処理をして公開の条件をつけている
その他関連調査		
Q13	学校のホームページの携帯電話による表示対応	ホームページの閲覧は主としてパソコンで見る保護者が7割
Q14	学校宛の電子メールの利用	利用したことがないあるいは、学校への連絡手段としては考えていない保護者が7割強
Q15	学校宛の電子メールに対する回答期限	即時から3日以内までに回答を要望の保護者が8割

2 - 3 学校ホームページの現状と運営体制

2 - 3 - 1 A小学校

(1) A小学校の現状と情報提供の校内体制

A小学校では平成14年9月にそれまでのMS-DOS対応機からWindows対応機20台に機種、システムの更新が行われた。利用環境は、パソコン室で児童の学習指導用として導入であり、CATVの回線を利用したインターネット接続方式を採用している。校内においては、Webの検索、参

照、メール受信が全機から可能であるが、メールの発信は児童用のクライアント機からはできないよう保護機能があり、発信するメールは教師機に蓄積し、その後再発信を行なわなければならない。

また、ホームページの作成は可能であるが FTP 転送が不可能である。

教育委員会の規定により、公費で購入するパソコンはすべてパソコン室の室内 LAN に接続されていなければならない。また、その室内 LAN 中のどのパソコンからもホームページのアップロードができないという絶対的な矛盾を抱えている。

そのなかで、職員室に CATV の TA から分枝した LAN で別途パソコンを接続している。公費で購入した機器が職員室にはないことが前提であるから、某職員の寄贈品という扱いになる。その二時代前(?)の機器(クロックは 300MHz、OS は Windows98 で HDD は 20MB)を用いてホームページの運用をしている。

ホームページの運用開始は平成 14 年 4 月から始め、そのデータ更新は基本的には授業日には毎日、変更部分は僅かであるが更新している。更新作業は、主に情報教育担当教諭、校長、給食調理員が担当する。

学校の公式ホームページはインターネットの発信する情報の本来の状態である不特定多数を対象としている。つまり保護者、児童、地域住民を意識して作成していながらも、実際にはあらゆる人々が閲覧していることを前提としていることを共通の認識としている。

現状におけるコンテンツとしては以下のような項目である。

校長あいさつ

学校の自然環境の変化などにふれながら時節の挨拶、学校行事の案内などをほぼ週変わりで掲載、校長が直接担当

校歌

校歌の歌詞と音声(MIDI)の提供

校内研究

校内研究の授業の場面や児童の活動を写真で提供、今後は市教育委員会県研究推進校としての研究内容及び研究発表会の案内等。主な対象は他の小、中学校関係者

パソコン室

パソコン室の機器の整備状況の写真

教育相談室

スクールカウンセラーによる教育相談室の相談活動、相談室開設日についての発信、不登校児および保護者を対象

校内めぐり
校内の教育施設案内
学校・学年のページ
学芸会 運動会 他
年間の大きな学校行事について、その概要（記録）を写真で構成、
発信（各学年）
クラブ・委員会
パソコンクラブの作品のみ、他のクラブは準備中
行事予定
当月及び次月の学校の予定（行事、健康診断、給食など）
学校だより
当月の学校だより全文を写真も含め掲載
遊び場開放
放課後の遊び場開放のきまりについて。保護者、地域対象
給食室
今週の献立表、給食室の紹介、特別食（正月、開校記念日など）の
紹介写真
ユーフォー
放課後の遊び場確保事業（社会教育課）の活動報告、発信
P T A 活動
活動予定、担当者不確定のため低調
地域の活動
地域運動会、ソフトボール大会など健全育成団体の活動報告写真
姉妹都市
姉妹都市についての風景、生物などの写真紹介
リンクのページ
市内小学校（ホームページがアクティブな学校）、市の情報教育セン
ター、検索エンジン
メール
本校のメールアドレス
読者の声
保護者、卒業生などからのメールの一部を紹介

(2) 保護者の意見・要望

A 校においては、表 2 - 5 のとおりパソコンで常時接続によりインタ

ーネットを利用する環境を持っている保護者の世帯は47%であり調査対象のサンプルの半数を超えていない。また調査対象のうち8%の世帯はインターネットの環境を保有していない。このことは、現状では学校ホームページの提供する情報は学校からの主たる情報の提供媒体とすることは難しいこと示している。

表2 - 5 A校保護者におけるインターネット利用環境

	比率
パソコンで常時接続によりインターネットを利用する環境を持っている	47%
パソコンでダイヤルアップ接続によりインターネットを利用する環境を持っている	44%
接続方法は不明だが、パソコンでインターネットを利用する環境を持っている	0%
パソコンによるインターネットを利用する環境を持っていない	9%

保護者などホームページの閲覧者が特に公開してほしいとする情報は表2 - 6のとおり、PTAの活動予定や活動報告(44%)や学習進度(教科書がどこまで進んだという程度)が他に比べて多い(43%)。

表2 - 6 A校の保護者におけるホームページ情報の関心度

全体	比率		
	現在公開されている	公開してほしい	特に必要ない
学校の年間行事予定	77%	14%	9%
運動会や授業参観等の保護者に直接関係のある学校行事予定	76%	14%	10%
運動会など実施された学校行事の写真や報告内容	74%	11%	15%
学級や学年の活動記録	60%	24%	16%
PTAの活動予定や活動報告	30%	44%	26%
進学情報	26%	37%	37%
学習進度(教科書がどこまで進んだという程度)	4%	43%	53%

さらに、公開されているコンテンツのなかで、

- ・ 学校行事
- ・ 運動会や授業参観などの行事の写真
- ・ 行事関係・学校行事（移動教室のあったときなど）
- ・ 行事の様子（報告）
- ・ 文化祭、対外行事などの結果（報告）
- ・ 行事（1ヶ月ごとの・年間行事・年間行事に係るもの・週間行事・週間ニュース・行事予定・学校の行事予定・行事の確認（日程）
- ・ イベント（行事の様子）・学校行事の内容（写真等）
- ・ 学年別の行事や活動記録・学年のようす
- ・ 自分の子どもの学年のエリア
- ・ 学年行事の写真や報告・学年の様子
- ・ 学年での活動（授業等）

は回答者の多くが関心をもっている。

また、どのような機能があったらホームページを閲覧するかとした項目のなかで特に多いのは、

- ・ 雨天時の運動会や遠足など、実施するか否かの情報（74%）
- ・ 修学旅行や林間学校・遠足等の校外学習の状況の現地からの報告や学校への帰着時間等（69%）

である。

学校がホームページで公開する上での児童の個人情報については意見が分かれた。

個人情報のうち学習成果・作品などについて公開しないとするのは、24%にとどまり他は公開を許諾するとしている。ただし、保護者や家族にその対象を限定するような意見もあるので、パスワードを設定するなどホームページ公開の技術的な対応も必要となる。しかし、これは限定した閲覧者がすべて善良な市民であることが前提となる。

ホームページによる児童の個人名が特定されることについての扱いについては、運動会や文化祭（学芸会）等の学校行事の写真でその公開を認めないとするのは31%と高い。学習活動として作品紹介で氏名を紹介することについて認めないとするものも42%である。

名前を紹介しない作品のみならよい（68%）とするのがおおかたである。「特定されないように処理すればよい」という意見が多くあった。

(3) 今後の課題

保護者のうちホームページを常時閲覧できる情報環境もつものが半数にみえない現状では、いくつかの手段を組み合わせることが考えられ、携帯電話に対応したコンテンツの提供なども必要となる。

また個人情報の保護に関心をもつ保護者が多いことから、提供する写真については、構図やアングルの工夫、デジカメで撮影した写真の後処理（フエイク）などの技術的な課題がある。

電子メールでの双方向の通信については現状では機能的には行われていないが、電子メールの利用は「学校への急ぎの連絡では便利である。

しかし、

- ・「誰がそれを受け取るのか？事務の方が受けてくれるのなら。担任はあまりに忙しいので。」
- ・「まず会っての会話（TELを含む）が、大切なので、メールはよくない」

という意見に代表されるような慎重論もある。

また、学校からは「すぐに返事の欲しい人が多いと思うが、学校現場にはそんな時間はない実態をご理解いただきたい。」

というような意見もある。

情報処理専門の職員が常駐すれば解決する問題であろうが、学校としての責任ある回答を求められる返信などは、校長の決裁を経るなどの手続きが必要である。

2 - 3 - 2 B小学校

(1) ホームページの閲覧者

B小学校においては、ホームページへの入口として

- ・ 更新されたものだけを閲覧する人（保護者）用に軽いページ(index1)、
- ・ 初めて来られた方など全体を閲覧する人用に普通のページ(index2)の二つを用意している。

ホームページ閲覧者として、「保護者・地域」と「一般の方」と考えており、「一般」は、教育関係を中心とした参観希望者、資料等情報の提供を希望する人などを考えている。実際に、地方の学校からの参観希望者、法務省から大使館員の参観、研究発表会への参加希望等に利用された。すなわち、学校の概要についての提供である。

また、保護者へは「開かれた学校」をめざし、日常の教育活動の様子

を伝えることで、日々の教育の理解と協力を期待しており、一部、保護者にも参加できるシステムもある。

(2) ホームページの更新

ホームページが活用されるポイントは、「更新されること」と「ほしい情報」にあると考える。そのため、定期更新を始め、随時、更新がなされるというシステムが必要となる。しかし、他の学校で多く見られるように、更新を多くすることで担当者に負担がかかりすぎてしまうこともある。そこで、B小学校では、基本的には全職員がホームページへのアップを可能にして、自分の担当箇所について管理している。もちろん、学級だよりと同じように管理職のチェックの後にアップを行うことになる。日常的にパソコンの活用を考えているB小学校では、職員に対しての研修の時間を極力減らし、「その場研修」として、使いたい時、分からない時に声を出し合い、教え合うことのできる雰囲気を作り、システム化している。

また、各担任がホームページを担当しているということから、保護者が知りたい日常の活動の様子などの情報を学級単位でアップすることもできる。全体は情報部、授業に関わる部分は担任や専科教師が常にデジカメで記録をして、サーバに置くようにしている。その写真を学級通信などと共にホームページに活用している。なお、写真データは一般の人が閲覧しても個人が特定できないレベルに画質を落としてある。

なお、ホームページへのアップについては、教育委員会の「インターネット利用上のガイドライン」にそって行っている。さらに、一日に数回、教職員がアップされたものを確認している。

(3) 定期更新ページ

主に定期的に更新している内容はつぎのとおりである。

学校長挨拶（月初めに更新）

「学校だより」巻頭の文（月初めに更新〈校長、教頭〉）

学校日記（週2回程度更新「行事の様子」）

文と写真は、学校玄関に掲示したものと同一であるが、写真データは、表示サイズを小さくしてアップロードしている（掲示用は原板を焼き付け）

学級日誌（学年に応じて随時更新「学級の活動の様子」、写真1枚）

高・中学年は児童、低学年は教師が更新（本名は書き込まない）

インターネット保護者会（不定期更新 学年は担任、学校関係は専科教師が更新）

各学年の展示室、写真室、資料室および伝言板、会議室

内容閲覧（有料）のために保護者および家族対象パスワード管理を行った上、サムネイルをクリックすると写真等が拡大表示（原板）される

ホットニュース

速報（臨海学園、移動教室、林間学園の様子（写真を含む）をリアルタイムでアップロード）

同窓会開催のお知らせ、音楽会の案内、等

行事の様子を携帯電話へ送信するものとして、「メールマガジン」を発行しており、受信者として、申し込み制（無料）により、学校職員・保護者・地域の方、その他希望者へ送信している。（週1，2回）

（4）不定期更新ページ

更新は不定期ではあるが、以下の内容を掲示している

「学校概要」

「学校の教育方針」

「主な年間行事」

「学校の地図」

「学校へのメール」

「子ども達への（各学年別）メール」

「子どもの学習発表のページ」

「研究のページ（前年度のまとめ、今年度の経過および様子）」

「パソコン活用のページ」（活用状況・具体例、パソコン免許証、LAN環境）

「交流のページ」（中国の姉妹校との交流、交流学習）

「学校の特色のページ」（＜基本の時間、10分間読書、TT など＞）

「その他の特色」（1/2校時を単位、全校栽培活動、たてわり班、給食）

「事務室」

「PTA」

「卒業生の情報」

「リンクページ」

（5）保護者の意見・要望

B小学校の調査は、1年から4年生保護者の全家庭を対象としたので、インターネットを利用する環境をもっている家庭は68%という一般的で言われている数値になっている。(表2 - 7 参照)

表2 - 7 B小学校の保護者インターネット利用環境

	比率
パソコンで常時接続によりインターネットを利用する環境を持っている	44%
パソコンでダイヤルアップ接続によりインターネットを利用する環境を持っている	14%
接続方法は不明だが、パソコンでインターネットを利用する環境を持っている	10%
パソコンによるインターネットを利用する環境を持っていない	32%

学校だよりにホームページのURLや学校のEメールアドレスを載せ、インターネット保護者会の案内も出しているが、14%の人が「知らない、公開していない」と答えている。(表2 - 8 参照)

表2 - 8 B小学校における保護者のホームページの認知

	比率
公開している	86%
公開していない	2%
知らない	12%

しかし、公開してほしいと答えているのは、その内の一人だけなので、他の保護者は関心がないと考えられる。また、ホームページを見ない理由は、パソコンを使いこなせない、時間がないと答えている。さらに、内容についても、1/4から1/3の保護者は、公開されていることを知らないうちに。しかし、1/3の保護者は、毎日か週に数回閲覧しているという結果も出ている。(表2 - 9 参照)

表2 - 9 B小学校の保護者における学校のホームページの閲覧頻度

	比率
ほぼ毎日見る	21%
週に数回見る	10%
週1回程度見る	7%
月2～3回程度見る	10%
学期に1～2回程度	28%
見ない	24%

これらのことから、関心の度合いによって閲覧しているかないかの二極化されているということが分かった。さらに、閲覧されていないコンテンツも多くあるようである。

ホームページや電子メールを活用することについて、即時性のあるものや個人的に対応するものに関しては高い関心をもっているという結果もみられた。

学習成果や作品については、「学校内の保護者の範囲でのみで公開を許諾する」に70%の回答がある反面、「制限無く自由に閲覧公開」という意見も40%以上であった。作品紹介に名前を掲載する点についても50%以上が許可すると答えている。日常の活動については、公開することにあまりためらいをもっていないとも受け取れた。

(6) 今後の課題

学校に対しての関心度の高さによって、ホームページを始め、学校の情報の期待度に関きがある。ということは、ホームページでの情報は、必ずしも伝わっていないと考えなくてはならない。

また、即時性のあるものに関心が向けられているので、連絡事項の通知などに活用できる学校側の体制を作っていくことも考えなくてはならない。さらに、個人的な対応ができることも必要な事項となってきたが、日々の学習記録が表現されている現段階では、それらがホームページ上にあることを周知徹底させる必要がある。

学習成果や作品を含め、作品紹介への名前の掲載や行事写真の公開などを安易に許可する保護者が多くみられた。個人情報についての関心が薄いと考えられるが、セキュリティや情報モラル、個人情報保護についての家庭への啓蒙は、学校という教育環境の立場から指導する必要がある感

じられた。それは、学校として子ども達を社会から守ることにもなり、また、子ども達にセキュリティや情報モラルを教えることにもつながることと考えられる。

さらに学校側の体制も、日常化されていくうちにセキュリティホールを作ってしまうこともある。そのためにも、常にガイドラインの確認と共に、学校としてのガイドラインシステム化をしなくてはならない。

パソコンや携帯電話の普及により、近未来の小学校の子ども達もパーソナルな環境でインターネットを利用するようになるであろう。これからの社会では情報は最重要な課題の一つになる。その中で、学校としてできること、学校としてやってはいけないこと、そして、学校としてしなくてはならないことを考える必要がある。しかも、情報化の波は非常に速いので、すぐにでも対応しなくてはならないが、個人情報を守ると共にネットワーク社会に生きる術を教育の中に盛り込むことを学校と家庭の連携の中で進めることが大事である。そのパイプの役割としてのハード、ソフトの整備についても考えなくてはならない。

2 - 3 - 3 C 中学校

(1) C校の現状の情報提供体制

全国の小・中学校では、現在、ホームページがある学校がほとんどではあるが、すべてという訳ではない。C校は、平成8年という、全国でも早い時期にホームページの公開を始めた。現在は、平成14年であるが、その間、提供する立場として、注意してきた点は、更新日と提供するコンテンツである。

まず、更新日であるが、すくなくとも1週間に一度は、更新するページを提供することを心掛けた。それは、一週間の様子を週刊C校ニュースとして提供してきた。そして、家庭との連絡用として作成した、毎日の配布物が何かを知ることができるページにおいては、毎日の更新を実現している。その際、学年ごとに担当者を決め、分担し、作成する体制を確立し実現したものである。

次にコンテンツである。インターネットは、不特定多数の人が自由に閲覧することができる。C校の対象も、在學生、卒業生、保護者、受験生 その他、一般の方であり、ある特定の相手を対象にしている訳ではない。公開する内容は、オ - プンにしても良い情報のみである。項目は、大別すると、以下のようになる。

i mode 対応のページ（学校からの緊急連絡や学校行事を確認することが出来る）	対象：在校生
学校紹介	対象：受験生・一般の方
学校行事	対象：在學生・卒業生・保護者・受験生
先生からの発信（各教科、各部から紹介・生徒作品等）	対象：在學生・卒業生・保護者・受験生
家庭への通信（学年ごとの配布物一覧）	対象：保護者
学校報	対象：卒業生・受験生・一般の方
週刊C校ニュース	対象：在學生・卒業生・保護者・受験生
高校生徒からの発信（高校生の部活動クラブの紹介等）	対象：在學生・卒業生・保護者・受験生
中学生徒からの発信（高校生の部活動クラブの紹介等）	対象：在學生・卒業生・保護者・受験生
入試情報	対象：受験生
卒業生のページ	対象：在學生・卒業生・保護者・受験生
ボランティア活動	対象：在學生・卒業生・保護者・受験生

しかし、中心は、在學生、受験生、卒業生、保護者であり、ホームページを見ることで、受験生、卒業生に学校の様子を知ってもらうこと、また、保護者に対しては、それによって、安心してもらうことである。特に、海外にホームステイに出かける中学3年の保護者に対しては、海外からその様子をわかるようにもしている。学校の様子を知ってもらうには、文字情報ばかりではなく、できるだけ写真を載せることが有効である。しかし、ネット犯罪等から生徒を守る配慮から、写真は、解像度を落とすなどし、全体写真で、個人ができるだけ特定出来ないように配慮した。

さらに、学校報等で印刷されるものをデジタル化する場合、個人名については、苗字だけにし、性別の判別もつかないようにした。生徒の作品に於いては、クラスと出席番号のみにした。教職員の写真は、校長のみとし、プライバシーの配慮から、他は出していない。

Eメールについては、以前は、全職員分、連絡用として、閲覧できるようにしていたが、コンピュータウイルスの問題（教職員のアドレスをハードディスクに保存しウイルスに感染した場合、そのアドレスを悪用する場がある、等）もあり、代表アドレスのみをホームページに載せ、在校生

については、紙に印刷したアドレス一覧を配布している。

(2) 保護者の意見・要望

調査したC校の保護者のインタ - ネット利用環境は96%であり、ホームページに関する関心も高い。(表2 - 10 参照)

表2 - 10 C中学校の保護者インターネット利用環境

	比率
パソコンで常時接続によりインターネットを利用する環境を持っている	45%
パソコンでダイヤルアップ接続によりインターネットを利用する環境を持っている	49%
接続方法は不明だが、パソコンでインターネットを利用する環境を持っている	2%
パソコンによるインターネットを利用する環境を持っていない	4%

保護者が、閲覧する回数は、ばらつきがあるが、閲覧する内容に関しては、保護者対象に作成しているページを閲覧しており、保護者向けに伝わる内容のあるものに関心がある。(表2 - 11 参照)

表2 - 11 C中学校保護者の学校ホームページ閲覧頻度

	比率
ほぼ毎日見る	8%
週に数回見る	16%
週1回程度見る	33%
月2～3回程度見る	39%
見ない	4%

その点からは、情報提供の目的に合ったものとなっていた。「他の機能がホームページあったら？」の質問に対しては、ホームページはサブ的な手段としての利用であり、大切なのは直接会い、会話(T E L)等の生のコミュニケーションを望んでおり、C校の現状の情報提供で充分と考えられる。

また、個人情報の公開については、個人情報の公開は原則反対の意見も多く、個人情報の保護を優先に考えている保護者が大半であった。も

し、公開するのであっても、公開できるものとできないものとを区別する目（判断）技術的に、ホームページの中に誰でも自由に閲覧できる部分と保護者向けのパスワードなどを限定した部分の両方の存在を要望する意見もあった。学校が意図して行っている、個人の顔・人を特定できないような公開の仕方は望んでおり、教師と意見の違いはなく、さらに、気をつけていかなければならないと考える。

（３）今後の課題

今回の調査に協力していただいた保護者の意見からは、保護者向けに伝わる内容のあるものに関心があり、Ｃ校の現状の情報提供体制に肯定的な意見が多かったと考える。個人情報の公開について考えにおいても、教師との考えと相違はなく、個人情報の保護を優先に考えている保護者が大半であった。

現在、Ｃ校のシステムでは、ホームページの中に誰でも自由に閲覧できる部分と保護者向けのパスワードなどを限定した部分の両方の存在を設定することはできない。もし、できたとしても、限定したホームページから、個人情報漏れることも考えられる。

インタ - ネットでは、悪用される可能性を否定できないので、注意深い運用が求められる。限定したページにおいても、コンテンツを吟味し、漏れてもいいが、オ - プンにする必要ない、その学校と家庭・生徒には、有益な情報の提供に利用したい。

結局、コンピュータは、道具にすぎず、それを使う人間のモラルによるものである。今後も、情報公開においては、十分な配慮をするとともにし、現在も実施している、保護者と学校の共通理解の場を多く設けることなど、Webの影の部分を理解し、生徒の啓蒙に家庭と学校で共に協力し育成していくことが大切だと考える。

3 情報提供システムの要件

3 - 1 保護者のシステムに対する要望事項

保護者として子どもが通学している学校のホームページとして情報公開を要望されている事項は表3 - 1のとおりであり、学校行事に関する情報、学校からの配布物情報、学級および学年活動の情報についての関心が高い。

表3 - 1 質問8に対する回答(全体)

お子様が通学している学校のホームページで関心を持ってご覧になるのは、どのような内容でしょうか？【記述形式で同じような内容を集計】		回答数
回 答	全 体	
学校行事・運動会や授業参観などの行事の写真 行事関係・学校行事(移動教室のあったときなど)・行事の様子(報告)・文化祭、対外行事などの結果(報告)・行事・行事(1ヶ月ごとの・年間行事・年間行事に係るもの・週間行事・週間ニュース・行事予定・学校の行事予定・行事の確認(日程)・イベント(行事の様子)・学校行事の内容(写真等)・何か特別の行事の時	41	
保護者への配布物・配布物・学校からの連絡事項 今月の配布物(プリント類)・保護者への通信・家庭への連絡(印刷物)・手紙の配布状況を知るため・学校からの配布物一覧・日常の書類等(配布物)・家庭への通信欄(配られた手紙の個所)・プリントの配布物のお知らせ・家庭への配布物	18	
学級活動 学級日誌・クラスのこと・学級のように・学級の活動記録・クラスのページ・学習活動(発表)・子どもが何らかにかかわっているもの・普段の生活が集まっている記事・普段すごしている様子が見たい・子どもの学習発表	16	
学年別の行事や活動記録 学年のように・自分の子どもの学年のエリア・学年行事の写真や報告・学年の様子・学年での活動(授業等)	12	
写真 行事の写真・行事(写真が写っているところ)・子どもたちの様子を、デジカメで撮影されているもの・行事の写真・行事の様子・行事の子どもたちの様子が画像で見られる	6	

活動報告・出来事・活動内容・トピックス	4
進学情報・進学状況	4
教育方針 学校の特色などは入学後少しでも変化したところがあるかどうか・学校の教育方針	3
教員からのメッセージ 先生方の言動・校長からのメッセージ・いろいろの事柄に対する学校側の意見	3
掲示板・保護者意見・父兄の掲示板	3
研修(報告)	2
食堂の内容・給食の内容	2
学校、学級だより	1
学校誌	1
学校行事が天候により中止か決定かの情報	1
子どもがパソコンで勉強していることをまとめたりしている時	1
子どもの話だけではわからない学校の様子	1
生徒作品のホームページ	1
PTA関係のページ	1
学校からの通知(先生からの発信、家庭への通信)	1
緊急連絡事項(PCが稼動する限り)	1
新しくなった教室の様子	1
生徒の通学範囲などの情報	1
OBのページ	1

また、進学先の情報入手手段の一つとしてとして学校のホームページを閲覧する場合に、必要と考えられている情報としては、学校の施設・設備、教育方針、公開された学校行事、部活動やクラブ活動、進学状況等について高い関心を持っている。(表3 - 2 参照)

表3 - 2 質問6に対する回答(全体)

質問6 お子様が通学先として検討する学校のホームページ上で公開してほしい情報をお答え下さい。	選択肢	
	公開して欲しい	特に必要はない
学校の施設・設備	106	3
教育方針	104	5
学校の学園祭、進学相談会その他の公開日程	101	7
部活動やクラブ活動	100	10
学校の進学状況	96	13

このように、学校のホームページにおける情報公開については、

- ・ 通学先としての学校については、自分の子どもの学習活動を知る手段
- ・ 進学先の検討としての学校としては、その学校の活動を知る手段として、活用される、あるいは活用したいと考えられている。

表3 - 3のとおり、学校のホームページを閲覧可能なインターネット環境を保護者の8割強が保有しているが、全ての保護者に対して情報を伝達するという目的からは、現状では他の情報提供手段の補完に過ぎない状況である。

表3 - 3 インターネット環境保有状況(全体)

質問1 インターネットを利用する環境をお持ちでしょうか？	回答比率
パソコンで常時接続によりインターネットを利用する環境を持っている	45%
パソコンでダイヤルアップ接続によりインターネットを利用する環境を持っている	37%
接続方法は不明だが、パソコンでインターネットを利用する環境を持っている	4%
パソコンによるインターネットを利用する環境を持っていない	14%

学校のホームページ上での自分の子どもの個人的情報（性別、顔、学習成果物としての作品）についての掲示に関する、掲示の範囲および、掲示する上で制限について以下のような回答が得られた。（表3 - 4 およ

び表3 - 5)

表3 - 4 質問11に対する回答(全体)

質問11 お子様の学習成果・作品等を学校のホームページ上で公開する場合、どの範囲までであれば公開を許諾なさいますか？ (ここでいう学習成果・作品とは、絵画、工作物、習字、作文等をデジタルカメラにより写したものを掲示することを想定しています。)					
	回答選択肢				
	子どもの保護者家族の範囲のみ公開	学級の保護者の範囲で公開する	学校内の保護者の範囲で公開する	特に制限無く自由に公開する	公開しない
回答比率	13%	14%	40%	23%	10%

表3 - 5 質問12に対する回答(全体)

質問12 学校のホームページ上につきのような内容でお子様が掲示された場合、誰でも自由に閲覧できるとしたら、保護者として許可なさいますか？					
質問内容	回答選択肢				
	認める	原則認める	処理していれば認める ⁴	認めない	原則認めない
運動会や文化祭等の学校行事でお子様の顔写真を公開する	12%	31%	34%	11%	12%
学習活動等として児童生徒の作品紹介で、お子様の名前は掲載しないで作品を紹介する	27%	40%	22%	5%	6%
学習活動等として児童生徒の作品紹介でお子様の名前を掲載して紹介する	10%	32%	15%	18%	25%

⁴ 処理していれば認めるとは、「個人を特定できないような処理をしていれば認める」との回答を言う

3 - 2 個人情報保護をシステム上の課題

アンケート結果から、学校のホームページ上での個人に関する情報の取扱いについては、個々の保護者により考え方に差異があり、この点を十分な配慮したシステムとすることが必要である。

具体的には、誰でもが閲覧可能な場所において公開する内容と、学級の保護者など限定された範囲でのみ公開される内容に分けて提示することが必要である。例えば、運動会等児童・生徒の写真提示においては、誰でもが自由に閲覧できる場所において掲示する内容としては個人が特定できないような方策を取って公開し、限定された範囲でのみ閲覧できる場所においては、その子どもの保護者の許諾を得た場合に、顔など個人を特定できる情報も提示するようなシステムとすることが考えられる。

また、実際に運用されているケースがあるか否かについて今回は調査を行っていないが、自分の子どものことに関しての保護者と担任教師のみが共有する情報をシステム上に構築することも十分考えられる。

学校における教育ネットワークに関する段階を以下のように分類できる。⁵

第一段階

個々の学校がISP⁶を経由してインターネットに接続される状態で、学校のセキュリティの甘さや、トラブルに対してISPが顧客情報を公開しない等の問題がある

第二段階

個々の学校は、教育ネットワークセンターに接続したイントラネット環境を構築し、教育用ネットワークセンター経由でインターネットネットの接続された状態で、学校インターネット⁷等における接続形態。セキュリティポリシーにより一括管理が可能となる。

第三段階

第二段階に加えて、インターネットに接続された保護者や地域住民等が一定のセキュリティの下で利用できるよう接続されたネットワーク環境形態。

⁵ この分類は、三鷹市教育委員会指導主事 大島克巳氏の講演資料を参照した。

⁶ ISP (Internet Service Provider)一般にはプロバイダと呼ばれる。

⁷ 文部科学省・総務省連携プロジェクト

前出の文部科学省の「学校における情報教育の実態調査結果」によれば表3 - 6のとおり、民間プロバイダへ接続している学校が、小学校で12,189校(54.0%)、中学校で5,443校(53.0%)と半数以上が、上記第一段階の状況にある。

表3 - 6 学校のインターネット接続状況

	インターネット接続学校数	学校のインターネット接続先			
		民間プロバイダ	自治体ネットワークセンター	教育センター等	独自接続
小学校	22,594	12,189	3,024	7,178	203
中学校	10,271	5,443	1,289	3,407	132
高等学校	4,103	1,771	329	1,871	132
中等教育学校	1	0	0	1	0
特殊教育諸学校	912	347	63	484	18
合計	37,881	19,750	4,705	12,941	485

こうした学校のインターネットへの接続環境において保護者からの接続については、その学校の保護者とその他の一般利用者との識別手段として、ID、パスワード等の利用によることが考えられる。しかし、IDやパスワード等の漏洩の危険性を考えると、保護者を限定するシステムとしては、提示する情報にある範囲を決めて運用することが必要と考える。

さらに、現状において保護者が公開要望の高い情報は、学校からの伝達的な意味合いが強い情報であり、インターネットの持つ特質である双方向性や即応性についてはシステムおよび運用体制の整備等により解決されることが望まれる。

具体的には、システム構築の際に、以下のようなシステム要件を考慮することが重要となる。

インターネット等の信頼できないネットワークからの不正アクセスを

防止するシステム(ファイアウォール)を有すること。

サーバコンピュータ等へのアクセスについて、日時や相手先情報、ID等の記録(アクセスログ)を継続的に取ること。

また、大量のアクセスログを日時・項目等により分類するアクセスログ解析ツールを有すること。

通信データの暗号化等により、Webサーバとブラウザ間の通信経路上でのデータの盗聴、改ざん等を防止すること。(SSL⁸、VPN⁹等)

ウイルスやワームによる攻撃を防止すること。(ワクチンソフトの利用等)

アクセス可能なブラウザコンピュータを制限すること。(IPアドレスによる制限、VPN等)

個人情報を有するページへのアクセスの際に、利用者認証(ユーザIDとパスワード、ICカードと暗証番号等)を行うこと。

また、利用者とデータにより、データへのアクセス権を制御すること。

不要になったデータを廃棄する機能を有すること。(ディスク完全消去ソフトウェア等)

データの複製を抑制する機能を有すること。(スクリプトの利用、ストリーミング等)

⁸ SSL(Secure Sockets Layer) Webサーバとブラウザ間の通信を暗号化して通信する手順。

⁹ VPN(Virtual Private Network) インターネットを利用して仮想的に構築する独自ネットワーク。暗号通信を実現。

参考資料 1 保護者アンケート用紙

アンケートのお願い

財団法人コンピュータ教育開発センターは、昭和61年7月、わが国の学校におけるコンピュータ利用促進のための基盤的技術を研究開発し、コンピュータ教育に関して普及啓発することを目的として設立された、文部科学省と経済産業省の共管の財団法人です。

このたび、「学校における保護者および地域に対する情報提供に関する調査研究」を実施する上で保護者の方々は、インターネット等を利用して学校が提供する情報としてどのような情報を要望されているかについての、アンケート実施することになりました。

つきましては、下記のアンケートにご協力願いますようお願い申し上げます。

- ① このアンケートは、学校を通して保護者の方に実施させていただきます。
(先生方につきましては、保護者の立場でご協力をお願いいたします。)
- ② このアンケートは、保護者の方がどのようにお考えかをお聞きするもので、お子様のご家庭でのインターネット利用についてのご質問ではございません。
- ③ このアンケートは、お子様が通学している学校など特定の学校のホームページやシステムを改善するためのアンケートではございません。
- ④ このアンケートは、お答えいただいた保護者の方々を特定したり個人情報として公開するものではありません。
- ⑤ このアンケートにご回答いただいた内容等をもとに、後日、財団法人コンピュータ教育開発センターのホームページ上で、「Web 情報保護技術を応用した学校コミュニティ情報提供システムの要件に関する研究」の研究成果として公開する予定です。

財団法人コンピュータ教育開発センターのホームページ <http://www.cec.or.jp/CEC/>

本件のお問い合わせ先

(1) 財団法人コンピュータ教育開発センター

業務部 中村

電話 03-3593-1802 FAX 03-3593-1806

(2) NEC文教ソリューション事業部 山形

電話 03-3798-2906 FAX 03-3798-2907

学校のホームページ等に関するアンケート用紙

(回答選択肢の中からもっともご意見に近いものに○印等のしるしをお付けください。)

【Ⅰ インターネットの環境等について】

1. インターネットを利用する環境をお持ちでしょうか？
 - ① パソコンで常時接続によりインターネットを利用する環境を持っている。
 - ② パソコンでダイヤルアップ接続によりインターネットを利用する環境を持っている。
 - ③ 接続方法は不明だが、パソコンでインターネットを利用する環境を持っている。
 - ④ パソコンによるインターネットを利用する環境を持っていない。

2. 携帯電話による電子メールやWeb 検索する環境をお持ちでしょうか？
 - ① 携帯電話を用いて電子メールやWeb 検索を行っている。
 - ② 携帯電話を利用しているが、電子メールを行っていない。
 - ③ 携帯電話を利用しているが、Web 検索を行っていない。
 - ④ 携帯電話を利用していない。
 - ⑤ 携帯電話を使用しているが、電子メールやWeb 検索はおこなっていない。

【Ⅱ 学校の情報提供手段としてのインターネット活用についてのご関心】

3. お子様が通学している学校ではホームページで情報を公開していますか？
 - ① 公開している
 - ② 公開していない 一質問3-1を、お答えください。
 - ③ 知らない 一質問3-1を、お答えください。

[次の質問は、質問3で②(公開していない)および③(知らない)と回答された方へお聞きします。]

3-1. ホームページ等を利用して情報を公開して欲しいと思いますか？

- ① そう思う
- ② どちらでもよい
- ③ 公開を望まない

(具体的なご意見がございましたらご記入ください。)

4. 学校の情報提供手段としてのインターネット活用についてご関心をお持ちでしょうか？

- ① 自分の子どもが通学している学校やその他学校のホームページを見ることがある。
- ② 自分の子どもが通学している学校のホームページを見ることはあるが、他の学校のホームページを見ることはない。
- ③ 学校のホームページを見ることはあるが、自分の子どもが通学している学校のホームページを見ることはない。 →質問4-1を、お答えください。
- ④ 学校のホームページに関して関心はあるが、あまり学校のホームページを見ることはない。 →質問4-1を、お答えください。
- ⑤ 学校のホームページについては、関心がない。 →質問10までお読みください。
- ⑥ 学校がホームページを公開することに関しては、異論がある。
(具体的なご意見をご記入ください。)

[次の質問は、質問4で③(ホームページを見ることはあるが、自分の子どもが通学している学校のホームページを見ることがない)④(関心はあるが、学校のホームページを見ることがない)とお答えの方へお聞きします。]

4-1. 学校のホームページを見られていないのは、どのような理由からでしょうか？

- ① 頻繁に更新していないから
- ② 見ても役に立つ情報がないから
- ③ 学校が保護者への公開を前提に作成しているようではないから
- ④ その他の理由 ()

5～10の質問は、学校の情報提供手段としてのインターネット活用について関心をお持ちの保護者の方、ご回答をお願いします。

5. お子様が進学している学校のホームページ上の情報についてお答えください。

- | | | | |
|--|-------------|---------|--------|
| ① 学校の年間行事予定 | (現在公開されている) | 公開してほしい | 特に必要ない |
| ② 運動会や授業参観等の保護者に直接関係のある学校行事予定 | (現在公開されている) | 公開してほしい | 特に必要ない |
| ③ 運動会など実施された学校行事の写真や報告内容 | (現在公開されている) | 公開してほしい | 特に必要ない |
| ④ 学級や学年の活動記録 | (現在公開されている) | 公開してほしい | 特に必要ない |
| ⑤ PTAの活動予定や活動報告 | (現在公開されている) | 公開してほしい | 特に必要ない |
| ⑥ 進学情報 | (現在公開されている) | 公開してほしい | 特に必要ない |
| ⑦ 学習進度(教科書がどこまで進んだという程度) | (現在公開されている) | 公開してほしい | 特に必要ない |
| ⑧ その他ホームページ上で公開してほしい情報
(具体的なご意見をご記入ください。) | | | |

6. お子様が進学先として検討する学校のホームページ上で公開してほしい情報をお答えください。

- | | | |
|--------------------------------------|-----------|---------|
| ① 教育方針 | (公開してほしい) | 特に必要はない |
| ② 学校の施設・設備 | (公開してほしい) | 特に必要はない |
| ③ 卒業後の進学状況 | (公開してほしい) | 特に必要はない |
| ④ 部活動やクラブ活動 | (公開してほしい) | 特に必要はない |
| ⑤ 学校の学園祭、進学相談会その他学校の公開日程 | (公開してほしい) | 特に必要はない |
| ⑥ その他公開してほしい情報
(具体的なご意見をご記入ください。) | | |

7. お子様に通学している学校のホームページをどの程度見ておられますか？

- ① ほぼ毎日見る
- ② 週に数回見る
- ③ 週1回程度見る
- ④ 月2～3回程度見る
- ⑤ 学期に1～2回程度
- ⑥ 見ない

(具体的なご意見をご記入ください。)

8. お子様に通学している学校のホームページで関心を持ってご覧になるのは、どのような内容でしょうか？

- ・く)
- ・く)
- ・く)

9. お子様に通学している学校のホームページ上に、質問5（お子様に通学している学校のホームページ上で公開してほしい情報）でお答えいただいた情報が掲載されるようになっているとしたら、どの程度見るようになるとお考えですか？

- ① ほぼ毎日見る
- ② 週に数回見る
- ③ 週1回程度見る
- ④ 月2～3回程度見る
- ⑤ 見ない

(具体的なご意見をご記入ください。)

10. お子様が進学している学校のホームページや電子メールを利用して、以下の機能がありましたらご利用になりますか？（ご回答によりお子様が通学している学校のホームページへの改善ご要望が反映されるものではありません。）

- | | | |
|--|-------|---------|
| ① 学校からの連絡事項の通知 | (利用する | 特に必要ない) |
| ② クラス連絡網として連絡 | (利用する | 特に必要ない) |
| ③ お子様の欠席等の学校への日常連絡手続き | (利用する | 特に必要ない) |
| ④ 連絡事項の回答や保護者面談の予約等の学校と家庭との連絡手続き | (利用する | 特に必要ない) |
| ⑤ 雨天時の運動会や遠足など、実施するか否かの情報 | (利用する | 特に必要ない) |
| ⑥ 修学旅行や林間学校・遠足等の校外学習の状況の現地からの報告や学校への帰着時間等の情報 | (利用する | 特に必要ない) |
| ⑦ お子様の日々の学習活動の記録 | (利用する | 特に必要ない) |
| ⑧ 担任の先生との個別の教育相談 | (利用する | 特に必要ない) |
| ⑨ PTA や学級の保護者の連絡 BBS(電子掲示板システム) | (利用する | 特に必要ない) |
| ⑩ 入学式や卒業式、各種の発表会のライブや録画のインターネット放送 | (利用する | 特に必要ない) |
| ⑪ その他 | | |
- (具体的なご意見をご記入ください。)

《Ⅲ お子様の個人情報についてのお考え》

11. お子様の学習成果・作品等を学校のホームページ上で公開する場合、どの範囲までであれば公開を許諾なさいますか？

(ここで言う学習成果・作品とは、絵画、工作物、習字、作文等をデジタルカメラにより写したものを掲示することを想定しています。)

- ① 自分の子どもの保護者家族の範囲でのみ公開
- ② 学級の保護者の範囲でのみ公開
- ③ 学校内の保護者範囲でのみ公開
- ④ 特に制限なく自由に閲覧公開
- ⑤ 公開しない

12. 学校のホームページ上につきのような内容でお子様が掲載される場合、誰でも自由に閲覧できるとしたら、保護者としてご許可なさいますか？

- ① 運動会や文化祭等の学校行事でお子様の顔写真を公開する。
- ・ 認める ・ 内容を見て判断するが原則的には認める
 - ・ 個人を特定されにくいような処理がなされていれば認める
 - ・ 認めない ・ 内容を見て判断するが原則的には認めない
- (その他のご意見

)

- ② 学習活動等として児童生徒の作品紹介で、お子様の名前は掲載しないで作品を紹介する。
- ・ 認める ・ 内容を見て判断するが原則的には認める
 - ・ 個人を特定されにくいような処理がなされていれば認める
 - ・ 認めない ・ 内容を見て判断するが原則的には認めない
- (その他のご意見

)

- ③ 学習活動等として児童生徒の作品紹介で、お子様の名前を掲載して紹介する。
- ・ 認める ・ 内容を見て判断するが原則的には認める
 - ・ ニックネームなど学校内の範囲で氏名が特定できる程度であれば認める
 - ・ 認めない ・ 内容を見て判断するが原則的には認めない
- (その他のご意見

)

《Ⅳ その他のご質問》

13. 学校が公開するホームページが携帯電話のweb対応していた場合、そのホームページをどのような方法でご覧になられますか？

- ① 主としてパソコンで見る
- ② 主として携帯電話で見る
- ③ パソコンでも携帯電話でも、どちらも同程度に見る
- ④ どちらも見ることはほとんどない

14. 学校のメールアドレス宛に電子メールを送られたことはありますか？

- ① パソコンから学校宛にメールを送ったことがある。 →質問14-1をお答えください。
- ② 携帯電話から学校宛にメールを送ったことがある。 →質問14-1をお答えください。
- ③ どちらからも学校宛にメールをおくったことがある。 →質問14-1をお答えください。
- ④ 学校のメールアドレスは知らされていないので学校宛にメール送ったことはない。
- ⑤ 必要がないので学校宛にメールを送ったことはない。
- ⑥ メールを利用しようと考えないので送ったことはない。

[次の質問は、質問14で①～⑥とお答えの方へお聞きします。]

14-1. 学校宛に電子メールを送られた際、どの程度時間で返事を受け取りましたか？

- ① 即時に返事を受け取った。
- ② 半日程度の時間で受け取った。
- ③ 1日程度の時間で受け取った。
- ④ 2～6日程度で受けとった。
- ⑤ 1週間以上後で受け取った。
- ⑥ 返事を必要とする内容ではなかった。
- ⑦ 返事は届いていない。

15. 緊急連絡以外の目的で学校宛に電子メールを送った場合、どの程度で返事がほしいとお考えですか？

- ① 即時に返事がほしい。
- ② 半日程度で返事がほしい。
- ③ 1日以内で返事がほしい。
- ④ 3日以内で返事がほしい。
- ⑤ 1週間程度までに返事がほしい。

16. 学校のホームページ上での情報公開に関して、保護者の立場でご意見がございましたらご自由にご記入ください。

(できるだけ一般論としてご記入ください。)

アンケートご協力ありがとうございました。

(このアンケート用紙を、学校の指定した方法で学校までお届けください。)

参考資料2 保護者アンケート調査結果

Q0 アンケート回等総数

	全体
配布数	158
回収数	132
回収率	84%

(インターネットの環境等について)

Q1 インターネットを利用する環境をお持ちでしょうか？

	全体	
	回答数	比率
パソコンで常時接続によりインターネットを利用する環境を持っている	60	45%
パソコンでダイヤルアップ接続によりインターネットを利用する環境を持っている	49	37%
接続方法は不明だが、パソコンでインターネットを利用する環境を持っている	5	4%
パソコンによるインターネットを利用する環境を持っていない	18	14%
小計(+ +)	114	86%
回答合計(~)	132	

Q2 携帯電話による電子メールや Web 検索する環境をお持ちでしょうか？

	全体	
	回答数	比率
携帯電話を用いて電子メールや Web 検索を行っている	65	49%
携帯電話を利用しているが、電子メールを行っていない	13	10%
携帯電話を利用しているが、Web 検索を行っていない	28	21%
携帯電話を利用していない	22	17%
携帯電話を利用しているが、電子メールも Web 検索も行っていない	4	3%
携帯電話保有小計(+ + +)	110	83%
回答合計(~)	132	

Q3 お子様が通学している学校ではホームページで情報を公開していますか？

	全体	
	回答数	比率
公開している	115	88%
公開していない Q3 - 1	4	3%
知らない Q3 - 1	11	9%
回答合計(~)	130	

Q3-1 ホームページ等を利用して情報を公開して欲しいと思いますか？

Q3で か を回答した方

	全体	
	回答数	比率
そう思う	4	29%
そちらでもよい	10	71%
公開を望まない	0	0%
回答合計(~)	14	

Q4 学校の情報提供手段としてのインターネット活用についてご関心をお持ちでしょうか？

	全体	
	回答数	比率
自分の子どもが通学している学校やその他学校のホームページを見ることがある	64	51%
自分の子どもが通学している学校のホームページを見ることがあるが、他の学校のホームページを見ることはない	29	23%
学校のホームページを見ることがあるが、自分の子どもが通学している学校のホームページをみることはない Q4 - 1	3	2%
学校のホームページに関して関心はあるが、あまり学校のホームページを見ることはない Q4 - 1	20	16%
学校のホームページについては、関心がない	9	7%
学校がホームページを公開することに関しては、異論がある	1	1%
回答合計(~)	126	

Q4-1 学校のホームページを見られていないのは、どのような理由からでしょうか？

Q4で , を回答した方

	全体	
	回答数	比率
頻繁に更新していないから	4	19%
見ても役に立つ情報がないから	3	14%
学校が保護者への公開を前提に作成しているようではないから	0	0%
その他の理由 【個別意見】	14	67%
回答合計(~)	21	

【個別意見】

- ・パソコンを利用する環境にない
- ・パソコンやインターネットをする時間がない
- ・印刷物の配布等、他の手段でことたりている
- ・現在は使用していないが、いずれは必要となると考えている

Q5 お子様に通学している学校のホームページ上の情報についてお答えください。

	回答数			比率		
	現在公開されている	公開してほしい	特に必要ない	現在公開されている	公開してほしい	特に必要ない
全体						
学校の年間行事予定	78	14	9	77%	14%	9%
運動会や授業参観等の保護者に直接関係のある学校行事予定	76	14	10	76%	14%	10%
運動会など実施された学校行事の写真や報告内容	75	11	15	74%	11%	15%
学級や学年の活動記録	59	23	16	60%	24%	16%
PTAの活動予定や活動報告	28	42	25	30%	44%	26%
進学情報	24	35	35	26%	37%	37%
学習進度(教科書がどこまで進んだという程度)	4	43	53	4%	43%	53%
その他ホームページ上で公開してほしい情報 【個別意見】						

【個別意見】

- ・子どもの通学している学校を含め学校のホームページを一度も見たことがない
- ・クラブ活動等で、大きな大会は新聞等で情報を得ることができるが、練習試合等の小さな試合結果等を校内保護者の範囲で知りたい
- ・中間テスト・期末テストの範囲の公開およびテスト終了後の模範解答の公開
- ・給食のメニューと材料として使用している製品の情報

Q6 お子様が進学先として検討する学校のホームページ上で公開してほしい情報をお答えください。

	回答数		比率	
	公開してほしい	特に必要はない	公開してほしい	特に必要はない
全体				
教育方針	104	5	95%	5%
学校の施設・設備	106	3	97%	3%
卒業後の進学状況	96	13	88%	12%
部活動やクラブ活動	100	10	91%	9%
学校の学園祭、進学相談会その他 学校の公開日程	101	7	94%	6%
その他公開してほしい情報 【個別意見】				

【個別意見】
<ul style="list-style-type: none"> ・その学校が得意とする事項(例えば、教科、スポーツ、文化活動、ボランティア活動、学力補強、名物教師など) ・学校の所在地、地図、年間の教科別時間数 ・入試に関連する情報(入学金、学費、入試科目、配点、オープンキャンパス等の日程など) ・教員の情報 ・学生の自分の学校の評価(好きな点、嫌いな点)

Q7 お子様に通学している学校のホームページをどの程度見ておられますか？

	全体	
	回答数	比率
ほぼ毎日見る	8	8%
週に数回見る	10	9%
週1回程度見る	13	12%
月2～3回程度見る	26	24%
学期に1～2回程度	38	36%
見ない 【個別意見】	12	11%
合計	107	

【個別意見】

- ・環境がないので見られませんが、環境が整えば週1回程度見たい
- ・PCに慣れておらず、操作上よくミスをするので怖くてさわれない

Q 8 お子様が通学している学校のホームページで関心を持ってご覧になるのは、どのような内容でしょうか？【記述形式で同じような内容を集計】

回 答	全体 回答数
学校行事・運動会や授業参観などの行事の写真・行事関係・学校行事（移動教室のあったときなど）・行事の様子（報告）・文化祭、対外行事などの結果（報告）・行事・行事（1ヶ月ごとの・年間行事・年間行事に係るもの・週間行事・週間ニュース・行事予定・学校の行事予定・行事の確認（日程）・イベント（行事の様子）・学校行事の内容（写真等）・何か特別の行事の時	41
保護者への配布物・配布物・学校からの連絡事項・今月の配布物（プリント類）・保護者への通信・家庭への連絡（印刷物）・手紙の配布状況を知るため・学校からの配布物一覧・日常の書類等（配布物）・家庭への通信欄（配られた手紙の個所）・プリントの配布物のお知らせ・家庭への配布物	18
学級活動・学級日誌・クラスのこと・学級のようす・学級の活動記録・クラスのページ・学習活動（発表）・子どもが何らかかわっているもの・普段の生活が集まっている記事・普段すごしている様子が見たい・子どもの学習発表	16
学年別の行事や活動記録・学年のようす・自分の子どもの学年のエリア・学年行事の写真や報告・学年の様子・学年での活動（授業等）	12
写真・行事の写真・行事（写真が写っているところ）・子どもたちの様子を、デジカメで撮影されているもの・行事の写真・行事の様子・行事の子どもたちの様子が画像で見られる	6
活動報告・出来事・活動内容・トピックス	4
進学情報・進学状況	4
教育方針・学校の特色などは入学後少しでも変化したところがあるかどうか・学校の教育方針	3
教員からのメッセージ・先生方の言動・校長からのメッセージ・いろいろの事柄に対する学校側の意見	3
掲示板・保護者意見・父兄の掲示板	3
研修（報告）	2

食堂の内容・給食の内容	2
学校、学級だより	1
学校誌	1
学校行事が天候により中止か決定かの情報	1
子どもがパソコンで勉強していることをまとめたりしている時	1
子どもの話だけではわからない学校の様子	1
生徒作品のホームページ	1
P T A 関係のページ	1
学校からの通知（先生からの発信、家庭への通信）	1
緊急連絡事項（P C が稼動する限り）	1
新しくなった教室の様子	1
生徒の通学範囲などの情報	1
O B のページ	1

Q 9 お子様が通学している学校のホームページ上に、質問5でお答えいただいた情報が掲載されるようになっていたら、どの程度見るようになるとお考えですか？

	全体	
	回答数	比率
ほぼ毎日見る	13	13%
週に数回見る	18	18%
週1回程度見る	31	30%
月2～3回程度見る	37	36%
見ない	3	3%
合計	102	

Q10 お子様が通学している学校のホームページや電子メールを利用して、以下の機能がありましたらご利用になりますか？

	回答数		比率	
	利用 する	特に 必要 ない	利用 する	特に必 要ない
全体				
学校からの連絡事項の通知	92	25	79%	21%
クラス連絡網として連絡	75	43	64%	36%
お子様の病欠等の学校への日常連絡手続き	73	44	62%	38%
連絡事項の回答や保護者面談の予約等の学校と家庭との連絡手続き	81	37	69%	31%
雨天時の運動会や遠足など、実施するか否かの情報	93	24	79%	21%
修学旅行や林間学校・遠足等の校外学習の状況の現地からの報告や学校への帰着時間等の情報	87	31	74%	26%
お子様の日々の学習活動の記録	71	47	60%	40%
担任の先生との個別の教育相談	66	51	56%	44%
PTA や学級の保護者の連絡 BBS(電子掲示板システム)	74	41	64%	36%
入学式や卒業式、各種の発表会のライブや録画のインターネット放送	76	42	64%	36%
その他 【個別意見】				

【個別意見】

・双方向のやり取りが可能ならよい。又、子どもが親に隠してもWeb上で参照可能(セキュリティは必要)ならば、成績等も個人的に参照できるとよい

《 お子様の個人情報についてのお考え》

Q 1 1 お子様の学習成果・作品等を学校のホームページ上で公開する場合、どの範囲までであれば公開を許諾なさいますか？

	全体	
	回答数	比率
自分の子どもの保護者家族の範囲でのみ公開	16	13%
学級の保護者の範囲でのみ公開	18	14%
学校内の保護者範囲でのみ公開	51	40%
特に制限なく自由に閲覧公開	30	23%
公開しない	13	10%
回答合計 (~)	128	

Q 1 2 学校のホームページ上につぎのような内容でお子様が掲示される場合、誰でも自由に閲覧できるとしたら、保護者としてご許可なさいますか？

	回答数				
	認める	原則認める	特定されにくいよう処理していれば認める	認めない	原則認めない
運動会や文化祭等の学校行事でお子様の顔写真を公開する	16	39	44	14	16
学習活動等として児童生徒の作品紹介で、お子様の名前は掲載しないで作品を紹介する	35	51	29	6	8
学習活動等として児童生徒の作品紹介で、お子様の名前を掲載して紹介する	13	41	19	23	33

	比率				
	認める	原則認める	特定されにくいよう処理していれば認める	認めない	原則認めない
全体					
運動会や文化祭等の学校行事でお子様の顔写真を公開する	12%	31%	34%	11%	12%
学習活動等として児童生徒の作品紹介で、お子様の名前は掲載しないで作品を紹介する	27%	40%	22%	5%	6%
学習活動等として児童生徒の作品紹介で、お子様の名前を掲載して紹介する	10%	32%	15%	18%	25%

《 その他のご質問》

Q 1 3 学校が公開するホームページが携帯電話のweb対応していた場合、そのホームページをどのような方法でご覧になられますか？

	全体	
	回答数	比率
主としてパソコンで見る	92	72%
主として携帯電話で見る	13	10%
パソコンでも携帯電話でも、どちらも同程度に見る	12	9%
どちらも見ることはほとんどない	11	9%
合計	128	

Q 1 4 学校のメールアドレス宛に電子メールを送られたことはありますか？

	全体	
	回答数	比率
パソコンから学校宛にメールを送ったことがある Q 14 - 1	21	17%
携帯電話から学校宛にメールを送ったことがある Q 14 - 1	1	1%
どちらからも学校宛にメールをおくったことがある Q 14 - 1	0	0%
学校のメールアドレスは知らされていないので学校宛にメール送ったことはない	9	7%
必要がないので学校宛にメールを送ったことはない	71	56%
メールを利用しようと考えないので送ったことはない	24	19%
合計	126	

Q14-1 学校宛に電子メールを送られた際、どの程度時間で返事を受け取りましたか？

Q 1 4 で , 、 を回答した方

	全体	
	回答数	比率
即時に返事を受け取った	4	19%
半日程度の時間で受け取った	5	24%
1日程度の時間で受け取った	4	19%
2～6日程度で受けとった	4	19%
1週間以上後で受け取った	0	0%
返事を必要とする内容ではなかった	1	5%
返事は届いていない	3	14%
合計	21	

Q 1 5 緊急連絡以外の目的で学校宛に電子メールを送った場合、どの程度で返事がほしいとお考えですか？

	全体	
	回答数	比率
即時に返事がほしい	12	11%
半日程度で返事がほしい	13	11%
1日以内で返事がほしい	33	28%
3日以内で返事がほしい	36	31%
1週間程度までに返事がほしい	22	19%
いない	1	
合計	117	

Q 1 6 学校のホームページ上での情報公開に関して、保護者の立場でご意見がございましたらご自由にご記入ください。

【自由記述】
<ul style="list-style-type: none">・携帯電話でメールをしている友人は、学校からの情報が入ってくるので「こんなことが学校であったよ」ということがわかることでとても便利そうだと思います・親は学校へ行けないので、普段の生き生きとした生活ぶりをホームページで見たい・共働きなど、子どもに目が行き届かなかったりするが、夜等の時間が空いた時、ホームページ等で情報が入るのはよいが、一方学校へ出向くことがますますすくなくなってしまうそう
<ul style="list-style-type: none">・連絡網として利用度をもっと高めるべき（もう電話連絡網の時代ではない）・電話による連絡網だけでは書きとめられない場合もあるので、再確認の意味でも良いと思う
<ul style="list-style-type: none">・犯罪等が増える中、子どもの写真や名前が学校外の人に簡単に分かっていますことに不安を感じます・行事予定の公開などは、かえって犯罪につながるようで危険だ
<ul style="list-style-type: none">・子どもの個人個人の情報開示については、各々の家庭でかなり温度差があると思われ、公開時には十分留意した対応が望まれる・個人情報の公開には原則反対である・顔を見られたら困る子どもが校内に一人でもいれば、顔が分かるものは公開すべきではない・不特定多数の人が見るということで慎重に考え、子どもの人権を大切にしたい

